



# 圧力・真空センサ/共通注意事項①

ご使用前に必ずお読みください。

「安全にお使いいただくために」および各シリーズの個別注意事項も併せてご確認ください。

## 設計・選定



### 警告

- 仕様をご確認の上、仕様の範囲内でご使用ください。仕様範囲外の負荷電流、電圧、温度、衝撃等は、圧力・真空センサの破損や作動不良の原因となりますので、仕様を熟読されその範囲内でご使用ください。



### 注意

- 取扱説明書は、ご使用前に必ずお読みください。圧力・真空センサの設定方法など、取扱説明書の内容を理解した上で使用してください。また、取扱説明書はいつでも読めるように保管しておいてください。
- 本製品は、圧力検出を行うもので、事故防止など安全保護を目的としたものではありません。

## 配線



### 警告

- リード線の色分けまたは端子番号に従って正しく配線してください。配線する場合は、必ず接続側電気回路の電源を切ってください。
- 誤配線をしないでください。DCの場合は極性がありますので、(+) (-)を間違えないでください。
- デジタル出力（オープンコレクタ出力）には、一瞬でも定格電圧、定格電流を超える仕様の負荷を接続しないでください。
- 動力線、高圧線と一緒に配線しないでください。動力線、高圧線とは離して配線してください。圧力・真空センサを含む制御回路が、ノイズにより誤作動する可能性があります。

## 配線



### 警告

- リード線に、繰返し曲げ応力や引張り力が加わらないようにしてください。可動部分に圧力・真空センサを設定される場合は、リード線に繰返し曲げ応力や引張り力が加わらないように、たるみや余裕をもたせた配線をしてください。繰返し曲げ応力や引張り力が加わるような配線は、断線の原因となります。
- 絶縁不良がないことを確認してください。リード線の接続部や延長ケーブルおよび端子台は、絶縁不良がないことを確認してください。絶縁不良があると、圧力・真空センサに過電流が流れて破損することがあります。特にアナログ出力を使用しない場合は、下記のアナログ線を切断し、絶縁テープなどで絶縁をしてください。（例 V2G：白色リード線）

## 使用環境



### 危険

- 爆発や発火の恐れのある場所では、絶対に使用しないでください。圧力・真空センサは防爆構造になっておりません。爆発性ガス雰囲気中や発火、引火の恐れがある場所では、爆発災害や火災を引き起こす可能性もありますので、絶対に使用しないでください。



### 警告

- 強磁場や大電流がある場所では、使用しないでください。強磁場や大電流（大形磁石、スポット溶接機など）がある場所では圧力・真空センサの誤作動の原因となります。
- 圧力・真空センサに常時水がかかるような場所では、使用しないでください。一部の圧力・真空センサ（仕様をご確認ください）を除いて、IEC規格IP67ないしはIP65構造を満足していますが、圧力・真空センサに常時水がかかるような場所では、使用しないでください。絶縁不良、誤作動する可能性があります。

VA01  
24

VA05  
24

VA01  
23

VA01  
33/34

MPV3

MPV4

真空  
パッド

固定式  
金具

MPS  
MVS

コンパ  
ンジェタ

真空  
ポンプ

インテ  
ィナル

LED-  
LED-  
ド

排気  
絞り弁

ケル  
グ

シヤトル  
バルブ

チェック  
バルブ

パーマ  
ストップ

インス  
ト継手

チューブ

エア  
マフラー

ローリ  
ジョイント

JPL-ス

P3N

ミニチュア

HP10

ドライヤ

エアレガ

VA01 24
VA05 24
VA01 23
VA01 33/34
MPV3
MPV4
真空 パック
固定式 金具
MPS MVS
コンパ ン（シユウカ）
真空 ポンプ
インライン フィルタ
ステド コントロ ー
排気 絞り弁
カウチ ンカウチ
シヤトル バルブ
チェック バルブ
パーマ ストップ
インタ ント継手
チューブ
エア マフラー
ローリ ジョイント
ジョーズ
P3N
ミニチュ ア
HP10
ドライヤ
コンプレ ッサ

## ⚠️ 圧力・真空センサ/共通注意事項②

ご使用前に必ずお読みください。

「安全にお使いいただくために」および各シリーズの個別注意事項も併せてご確認ください。

### 使用環境

#### ⚠️ 危険

- IP65仕様は、付属のバーブ継手とリングを大気圧導入口にねじ込み、外径φ4内径φ2チューブを接続し、先端を水や油の影響を受けない正常な環境下に出してください。

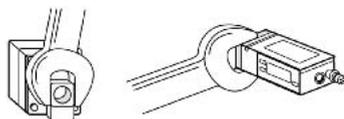


- 油分や薬品環境下では、使用しないでください。クーラントや洗浄液等、種々の油や薬品の環境下での使用は、短期間でも圧力・真空センサ内部に悪影響を与える場合がありますので、当社にご相談ください。
- 極端な温度変化がある場所では、使用しないでください。通常の気温変化以外の極端な温度変化の生じる場所での使用は、圧力・真空センサ内部に悪影響を与えますので、当社にご相談ください。
- 過大な衝撃が発生する場所では、使用しないでください。誤作動することがあります。

### 取扱い

#### ⚠️ 注意

- 圧力導入口にドライバや針金等を差し込まないでください。ダイヤフラムが破損すると正常に作動しなくなります。
- 単体タイプ取付け時に、圧力ポートに市販の継手、ニップルを取り付けるときは、本体の樹脂部に過大な力が加わらないようにしてください。金属アダプタ以外には絶対にスパナ等はかけないようにしてください。



- 耐圧力は、機種によって異なりますので、仕様をよく確認して、耐圧力以上の圧力が加わらないようにしてください。